



# 桐蔭キャリア通信 第8号

*Toin Career News*



和歌山県立桐蔭中学校・桐蔭高等学校 平成26年9月10日発行

## キャリア教育 ちょこっと研修 その23

### 『キャリア教育で育成すべき力』－「基礎的・汎用的能力」とは－part1

「ちょこっと研修 その21」で、紹介したキャリア教育の定義を覚えていますか。「一人ひとりの社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育」とあります。「社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる『能力や態度』を育てる」とありますが、その『能力や態度』っていったいどのようなものだろうと思いませんか。その答えが「基礎的・汎用的能力」です。では「基礎的・汎用的能力」とはいったいどのような能力なのでしょう？

<基礎的・汎用的能力> 「人間関係形成・社会形成能力」、「自己理解・自己管理能力」とは

「基礎的・汎用的能力」は、「人間関係形成・社会形成能力」、「自己理解・自己管理能力」、「課題対応能力」、「キャリアプランニング能力」の4つの能力によって構成される。(中略)

#### ☆人間関係・社会形成能力

「人間関係・社会形成能力」とは、多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聞いて自分の考えを正確に伝えることができるとともに、自分の置かれている状況を受け止め、役割を果たしつつ他者と協力・共同して社会に参画し、今後の社会を積極的に形成できる力である。

この能力は、社会とのかかわりの中で生活し仕事をしていく上で、基盤となる能力である。(中略)

具体的な要素としては、例えば、他者の個性を理解する力、他者に働きかける力、コミュニケーションスキル、チームワーク、リーダーシップ等が挙げられる。

#### ☆自己理解・自己管理能力

「自己理解・自己管理能力」は、自分が「できること」「意義を感じること」「したいこと」について、社会との相互関係を保ちつつ、今後の自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき主体的に行動すると同時に、自らの思考や感情を律し、かつ、今後の成長のために進んで学ぼうとする力である。

この能力は、子どもや若者の自信や自己肯定間の低さが指摘される中、「やればできる」と考えて行動できる力である。(中略)

具体的な要素としては、例えば、自己の役割の理解、前向きに考える力、自己の動機付け、忍耐力、ストレスマネジメント、主体的行動等が挙げられる。

(中央教育審議会「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について(答申)」(平成23年1月31日) p25～p26)

「人間関係・社会形成能力」は、桐蔭中学校が3年間研究してきた研究主題「学びあい」とも密接に関係していますし、学級、学年を運営する中で私たちがずっと大切にしてきた力です。また、「自己理解・自己管理能力」は、生徒一人一人を育てる上で大切にしてきた力です。だからこそ新しい教育を準備しなければいけないのではなく、われわれが今まで行ってきたことを、この能力の視点で教師が意識し、指導していけばよいのではないのでしょうか。

(文責 嶋田)